

平成29年度第2回「佐世保市行財政改革推進会議(部会)」

〔名簿・議事要旨〕

■日時：平成29年12月21日(木) 10:00~12:00

■場所：佐世保市役所本庁4階 第1委員会室

■委員の出欠状況：出席者4名

[順不同・敬称略]

氏名	所属団体
おかみつまさ 岡 光正 (部会長)	佐世保商工会議所 議員
たきともりのり 滝 知則	長崎国際大学 人間社会学部 教授

氏名	所属団体
つな たつゆき 綱 辰幸	長崎県立大学 地域創造学部 教授 (学部長)
つる た たかあき 鶴田 貴明	公益財団法人 ながさき地域政策研究所 調査研究課長

H29. 12. 21 行財政改革推進会議(部会) 第2回部会 (議事要旨)

(1) 「第6次佐世保市行財政改革推進計画[後期プラン]」第2次改革工程表について

質疑・意見等	応答
○財政見通し、改革改善効果額、財政計画の関係を示した表があればよりわかりやすい。	◆示し方を工夫していきたい。
○連携中枢都市圏による効果等は未確定事項もあると思うが、シミュレーションしたものがあるのか。	◆連携中枢都市圏の取組みについては、事業案はあるが、各市町と協議を行っている状況であり、まだ改革改善額としては盛り込めていない。今後改革工程表に反映できればと考えている。
○「第2次改革工程表のポイント」については、庁内でオーソライズされているのか。各部署に対して状況を理解してもらうことで、全体がうまく回っていくと思う。	◆副市長及び各部局長で組織した行財政改革推進本部でオーソライズしており、推進会議の意見を踏まえながら、今後全庁に周知を行っていききたい。また職員活動発表会や改善事例をまとめた佐世保市元気事典の活性化を通じて、職員の自発的改革にも取り組んでいきたい。
○トップダウンによる機構改革が必要な時期にきており、取り組むべきではないかと思う。	◆市総合計画の改定に向けて、今後検討課題として取り組んで行かなければならないと考えている。
○補助金額の総額を教えてください。また、補助金の見直しにあたり、検証はされているのか。	◆平成29年度の一般会計予算ベースで補助金は307件、51億円を支出している。今後、補助金ガイドラインに基づき、長期間継続して支出をしている補助金や補助率が3分の1を超えているものを対象に検証を行っていく予定である。

質疑・意見等	応答
<p>○働き方改革については、もう少し高い目標を立ててもいいような気がする。中期的に見て実験的にでもやってみていいかなと思う。また手法として、例えば若手で研究会を作るなど、柔軟な発想で考えていくような面も含め、職員で考えて共有していくという取組みも行ってはどうかと考える。</p>	<p>◆他都市ではいろんな取組みを始めており、そのような事例も参考にやらないと進んでいかないと考えている。</p>
<p>○行財政改革推進計画と総合計画の関係はどうか。</p>	<p>◆総合計画では、行政像を市民とともに歩み、変革し続ける行政と位置付け、都市経営の取組みを行っているが、行財政改革推進計画は、その推進を図るための個別プランとして具体的な取組みを示したものとなる。</p>

(2) 「公共施設適正配置北部エリア実施計画(案)」について

質疑・意見等	応答
○資料の示し方だが、各施設の今後の方針が示されているが、なぜこの方針になったのか理由が書いてあるとよいと思う。[意見]	
○市民とのワークショップにあたっては、街づくり的な発想や予算等の説明と連動して進める必要があるのではないか。	◆市民とのワークショップにあたっては、施設再編は財政運営を安定化させるという目的達成のための手段であるとの説明は行っている。ご意見を含めて、今後の啓発のやり方は考えていきたい。
○方針に民営化と記載しているものがあるが、具体的な当てがあるのか。	◆現在、指定管理者制度を導入している施設については、指定管理者に引き継ぐことも想定しているが、今後公募により売却するものもある。
○ワークショップの意見にもあるが、交通手段の問題があり、何らかの対応ができれば良いと感じる。公共施設の検討ではストックが減るが、フローは増やすということがあれば、全体として財政的には持続可能で、行政の質は落ちないということになる。よって、その観点から交通手段への対応を考えていけたらと思う。[意見]	